



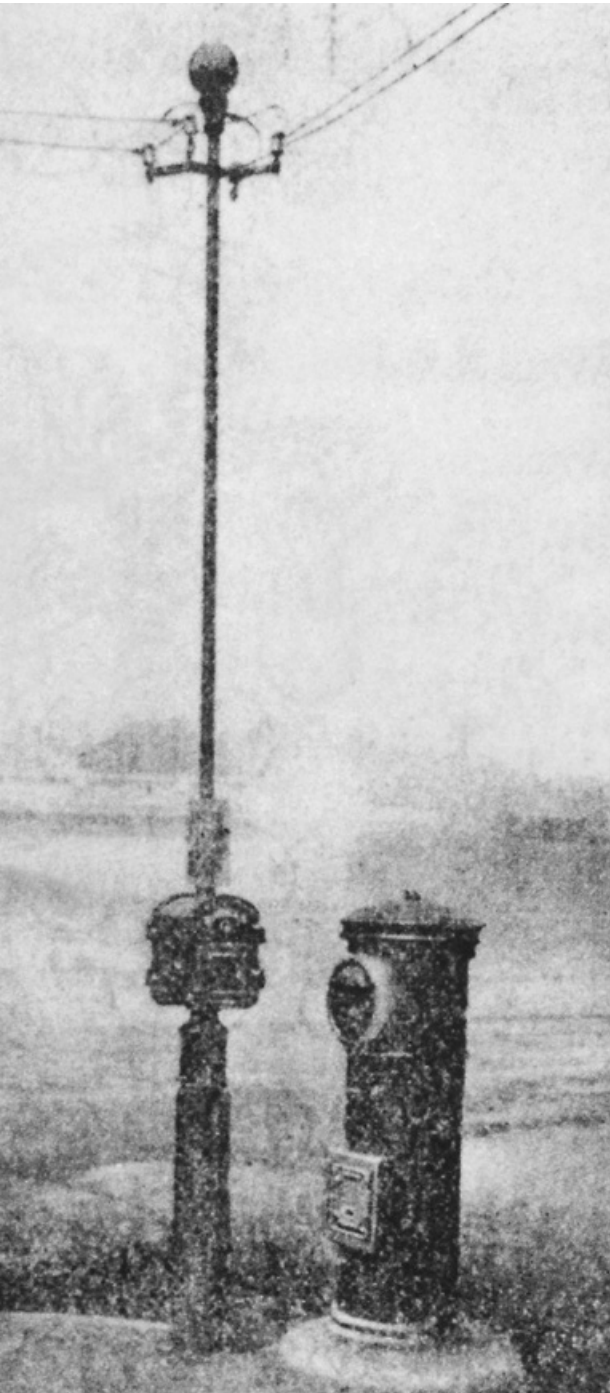
# 株主通信

## 第129期 中間報告書

(2024年4月1日から2024年9月30日まで)



**ホーチキ株式会社**



## ホーチキグループのMVV (Mission・Vision・Value)

### 経営理念 Our Mission

#### 人々に安全を

災害の防止をとおして人命と財産の保護に貢献する。

#### 社会に価値を

社会に価値ある商品とサービスを提供する。

#### 企業をとりまく人々に幸福を

従業員と株主、協力者および地域社会の人々に豊かな生活と生きがいのある場を提供する。

### ビジョン Our Vision

人と技術の力で世界中にLife Safetyを創造する

### 行動指針 Our Values

#### 誠実

物事に真剣に向き合い、常に真面目に取り組み、誠実に行動します。

#### 情熱&チャレンジ

変化を恐れず主体的にチャレンジし、高い成果を目指し、情熱を持って仕事を乐しみます。

#### チームワーク

仲間と自分を信じて、チームの力で成功を掴みます。

## 目次

株主の皆様へ	1
決算ハイライト (企業集団・連結)	3
連結決算の概況	
連結貸借対照表 (要旨)	4
連結損益計算書 (要旨)	4
連結株主資本等変動計算書	4
個別決算の概況	
貸借対照表 (個別) (要旨)	5
損益計算書 (個別) (要旨)	5
株主資本等変動計算書 (個別)	5
TOPICS	6
株式の状況	8
会社の概況	8
事業所	9
取締役、監査役及び役付執行役員	9

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび第129期中間連結会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）の決算につきまして、事業の経過とあわせてご報告申し上げます。

## ■事業の経過及びその成果

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の高まりにより、緩やかな回復基調で推移したものの、ウクライナ・中東における地政学リスクや原材料・資源価格の高騰、海外景気の下振れ懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

防災・防犯業界においても、時間外労働の上限規制への対応や労務費の増加、原材料価格、物流費の上昇等、収益に影響を及ぼすリスクが顕在化しております。

このような状況のもと、当社グループは、新たな中長期経営計画「GLOBAL VISION2030」をスタートし、全社を挙げて営業活動を推進してまいりました。国内においては、リニューアルや保守が順調に進捗したことに加え、施工業務の負荷平準化を目的とした工期前倒し施策の実施も業績に寄与いたしました。また、海外においては、主に欧州における火災報知設備を構成する製品群のシステム販売が好調に推移いたしました。その結果、受注高は57,304百万円（前年同期比5.5%増）、売上高は45,531百万円（同9.5%増）と増加しました。利益においては、経営計画に基づく開発投資の実施や採用活動の強化、物価高を反映した労働条件の改善等により、販売費及び一般管理費が増加したものの、採算性の良いリニューアルや保守の売上増に加え、原価率を意識した受注活動を推進したことにより、営業利益は3,376百万円（同88.9%増）、経常利益は3,363百万円（同59.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は2,284百万円（同51.0%増）と、いずれも前年から大幅に増加しました。

## ■事業別の概況

（火災報知設備）

国内リニューアルや海外ビジネスの伸長により、受注高は34,492百万円（前年同期比11.1%増）、売上高は28,235百万円（同9.5%増）、セグメント利益（営業利益）は3,549百万円（同43.6%増）となりました。

（保守）

定期点検保有高を着実に増やす取組みや整備工事の受注を推進した結果、受注高は13,676百万円（同2.3%増）、売上高は9,495百万円（同4.7%増）、セグメント利益（営業利益）は2,029百万円（同10.7%増）となりました。

（消火設備）

採算性の良い案件の選別受注を推進したことにより、受注高は5,695百万円（同14.6%減）となった一方、トンネル非常用設備の前年度からの反動増により、売上高は5,137百万円（同23.5%増）、セグメント利益（営業利益）は683百万円（同95.4%増）となりました。

（防犯設備）

主にアクセスコントロール設備において、火災報知設備事業の顧客基盤を活かした営業活動を展開した結果、受注高は3,439百万円（同5.8%増）、売上高は2,663百万円（同4.4%増）、セグメント利益（営業利益）は109百万円（前年同期は営業損失100百万円）となりました。



## ■ 対処すべき課題

当社グループを取り巻く環境は、ウクライナ・中東における地政学リスクや原材料・資源価格の高騰、海外景気の下振れ懸念に加え、改正労働基準法への対応に関する労務費の増加等、収益に影響を及ぼすリスクが顕在化しております。

このような環境の中、当社グループは、企業価値向上と持続可能な社会に一層の貢献を果たすべく、新たな中長期経営計画「GLOBAL VISION2030」（2024～2030年度）を策定しました。新ビジョンとして「人と技術の力で世界中にLife Safetyを創造する」を掲げ、「火災から人命・財産を守る」という中核を維持しつつ、世界中の人々に安心かつ快適な人生・生活を提供するという思いのもと、事業活動を通じた社会課題の解決を目指してまいります。

## 経営目標

「GLOBAL VISION2030」のPhase1にあたる2024～2026年度を「未来に向けた事業投資の実行ステージ」と位置づけ、資本収益性改善に向けた事業基盤改革を実行します。

2026年度 目標指標 (連結)	売上高	1,000億円
	営業利益率	8.2%
	自己資本利益率(ROE)	10%以上
	投下資本利益率(ROIC)	9%以上

## 重点方針

### ① 事業ポートフォリオの最適化による資本収益性向上

事業構成や経営資源配分を最適化する事業ポートフォリオをグループ経営の中核に据え、各事業を適正に評価しながら、有機的に連動させることで従来よりも効率よく多くの収益を獲得し、将来への成長投資へつなげていきます。具体的には、資本収益性改善に向け、ROIC（投下資本利益率）に基づく事業評価手法の確立と、経営資源の最適配分、戦略的な投資判断を可能とする経営管理体制の整備を進めるとともに、各事業部門の収益マネジメント力の強化を図ります。

### ② 人的資本経営の推進

従業員一人ひとりが働きがいを持って成長できるよう、当社グループのMVV、経営理念（Mission）・実現したい姿（Vision）・行動指針（Value）を基軸とし、多様な個性や能力を持つ世界中の従業員が活躍できる人事制度や人材育成体系へと進化させるための人的投資を実施します。事業戦略と連動した施策を進め、個人の成長とチームでの協働を掛け合わせ、人的資本の価値を最大限に引き出します。

### ③ DXによるイノベーション推進

デジタル技術を有効活用し、ビジネスプロセスの更なる効率化を進め、従業員一人ひとりが付加価値の高い仕事を行う時間を創出します。その上で、既存ビジネスモデルの収益構造を深化させ、新たな事業領域の拡張や深耕を図り、魅力的な「Life Safety」の創造に挑みます。

当社グループは、「人々に安全を」「社会に価値を」「企業をとりまく人々に幸福を」という経営理念のもと、グローバルに事業を展開しております。成長戦略として、主に、国内におけるメンテナンス事業の生産性向上、リニューアル事業の基盤強化、海外におけるシステム領域拡張に向けた施策を実行します。また、メーカーとして、将来に向けた基礎研究や要素技術開発を強化するなど、中長期の視点で「モノづくり力」を高めるとともに、高品質でコスト競争力のある製品を適切な納期で提供できるよう、グローバルでのサプライチェーンマネジメントの体制整備を図っております。

さらに、サステナブルな社会の実現に向け、「グループESG基本方針」に従って、透明性の高いコーポレート・ガバナンスの充実や地球温暖化への対応を進めることにより、市場での存在感を高め、企業価値の向上に努めてまいります。

2024年12月

代表取締役社長執行役員 細井 元

# 決算ハイライト (企業集団・連結)

(百万円)

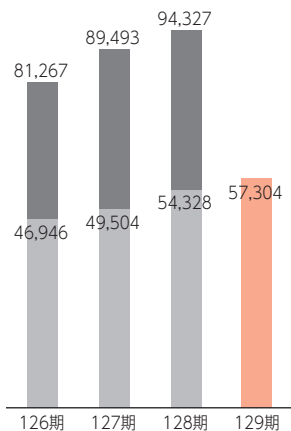
	第126期		第127期		第128期		第129期	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期 (見通し)
受注高	46,946	81,267	49,504	89,493	54,328	94,327	57,304	—
売上高	35,810	81,251	37,662	85,457	41,568	93,485	45,531	95,000
経常利益	1,301	5,626	1,060	5,857	2,109	7,782	3,363	7,800
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	955	4,124	841	4,422	1,512	5,661	2,284	5,700
1株当たり中間(当期)純利益	(円) 38.15	164.70	33.58	176.65	60.91	228.23	91.98	229.96
総資産	62,979	73,912	70,006	77,816	76,470	85,233	79,097	—
純資産	39,424	42,854	42,819	46,340	48,014	52,911	54,378	—
自己資本比率	(%) 62.4	57.8	61.0	59.3	62.6	61.9	68.5	—
1株当たり純資産	(円) 1,568.40	1,704.73	1,703.90	1,849.83	1,931.38	2,127.63	2,179.80	—

※ 1株当たり中間(当期)純利益は期中平均発行済株式数により、1株当たり純資産は期末発行済株式の総数により、それぞれ自己株式数を控除した株式数を用いて算出しております。

## 受注高

(百万円)

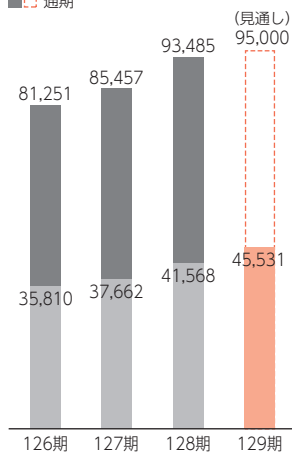
■ 中間期  
■ 通期



## 売上高

(百万円)

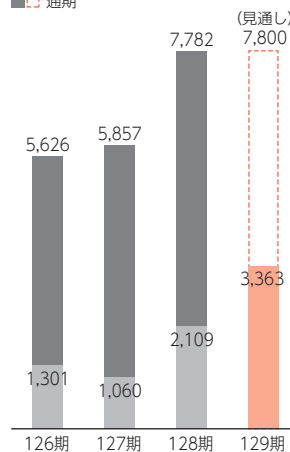
■ 中間期  
■ 通期



## 経常利益

(百万円)

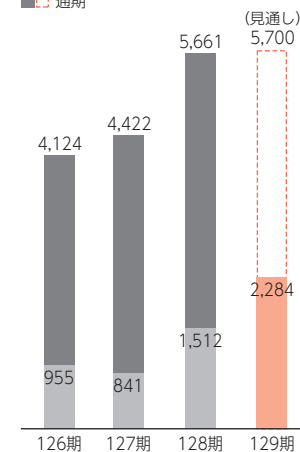
■ 中間期  
■ 通期



## 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(百万円)

■ 中間期  
■ 通期



# 連結決算の概況

## 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目		前連結会計年度 2024年3月31日現在	当中間連結会計期間 2024年9月30日現在	
資産の部	流動資産	61,767	55,453	
	固定資産	23,466	23,643	
	有形固定資産	12,272	12,688	
	無形固定資産	857	868	
	投資その他の資産	10,336	10,086	
	資産合計	85,233	79,097	
負債の部	流動負債	25,153	17,477	
	固定負債	7,168	7,241	
	負債合計	32,322	24,718	
純資産の部	株主資本	48,145	49,732	
	資本金	3,798	3,798	
	資本剰余金	2,728	2,728	
	利益剰余金	46,180	47,652	
	自己株式	△ 4,561	△ 4,446	
	その他の包括利益累計額	4,592	4,476	
	- 其他有価証券評価差額金	2,332	2,310	
	- 土地再評価差額金	△ 641	△ 641	
	- 為替換算調整勘定	1,697	1,538	
	- 退職給付に係る調整累計額	1,202	1,268	
	非支配株主持分	173	169	
		純資産合計	52,911	54,378
		負債・純資産合計	85,233	79,097

## 連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	当中間連結会計期間 2024年4月1日から 2024年9月30日まで
売上高	41,568	45,531
売上原価	27,780	28,949
売上総利益	13,787	16,582
販売費及び一般管理費	12,000	13,206
営業利益	1,787	3,376
営業外収益	364	237
営業外費用	42	250
経常利益	2,109	3,363
特別利益	6	5
特別損失	15	25
税金等調整前中間純利益	2,100	3,343
法人税、住民税及び事業税	480	670
法人税等調整額	125	386
中間純利益	1,494	2,287
非支配株主に帰属する 中間純利益又は純損失 (△)	△ 17	3
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,512	2,284

## 連結株主資本等変動計算書 (2024年4月1日から2024年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本 合計	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式		其他 有価証券 評価差額金	土地 再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当連結会計年度期首残高	3,798	2,728	46,180	△ 4,561	48,145	2,332	△ 641	1,697	1,202	4,592	173	52,911
当中間連結会計期間中の変動額												
剰余金の配当			△ 812		△ 812							△ 812
親会社株主に帰属する中間純利益			2,284		2,284							2,284
自己株式の取得				△ 0	△ 0							△ 0
自己株式の処分				115	115							115
株主資本以外の項目の中間 連結会計期間中の変動額(純額)						△ 21		△ 159	65	△ 115	△ 4	△ 120
当中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	1,471	115	1,586	△ 21	—	△ 159	65	△ 115	△ 4	1,466
当中間連結会計期間期末残高	3,798	2,728	47,652	△ 4,446	49,732	2,310	△ 641	1,538	1,268	4,476	169	54,378

# 個別決算の概況

## 貸借対照表 (個別) (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前事業年度	当中間会計期間	
	2024年3月31日現在	2024年9月30日現在	
資産の部	流動資産	46,707	40,914
	固定資産	23,711	23,655
	有形固定資産	8,603	8,750
	無形固定資産	622	673
	投資その他の資産	14,485	14,231
資産合計	70,418	64,570	
負債の部	流動負債	21,965	14,924
	固定負債	6,792	6,816
	負債合計	28,758	21,740
純資産の部	株主資本	39,989	41,189
	資本金	3,798	3,798
	資本剰余金	2,728	2,728
	利益剰余金	38,024	39,108
	自己株式	△ 4,561	△ 4,446
	評価・換算差額等	1,671	1,640
	その他有価証券評価差額金	2,312	2,282
	土地再評価差額金	△ 641	△ 641
	純資産合計	41,660	42,829
	負債・純資産合計	70,418	64,570

## 損益計算書 (個別) (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前中間会計期間	当中間会計期間
	2023年4月1日から 2023年9月30日まで	2024年4月1日から 2024年9月30日まで
売上高	31,776	34,269
売上原価	22,315	22,769
売上総利益	9,461	11,499
販売費及び一般管理費	8,917	9,739
営業利益	543	1,760
営業外収益	901	868
営業外費用	37	205
経常利益	1,407	2,423
特別利益	0	95
特別損失	14	2
税引前中間純利益	1,393	2,516
法人税、住民税及び事業税	145	264
法人税等調整額	183	355
中間純利益	1,064	1,897

## 株主資本等変動計算書 (個別)

(2024年4月1日から2024年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等					純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	土地 再評価 差額金	評価・ 換算差額等 合計		
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	別途 積立金	繰越利益 剰余金						利益 剰余金 合計	
当事業年度期首残高	3,798	2,728	2,728	672	3,136	34,215	38,024	△ 4,561	39,989	2,312	△ 641	1,671	41,660
中間会計期間中の変動額													
剰余金の配当						△ 812	△ 812		△ 812				△ 812
中間純利益						1,897	1,897		1,897				1,897
自己株式の取得								△ 0	△ 0				△ 0
自己株式の処分								115	115				115
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)										△ 30		△ 30	△ 30
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	—	1,084	1,084	115	1,199	△ 30	—	△ 30	1,169
当中間会計期間期末残高	3,798	2,728	2,728	672	3,136	35,300	39,108	△ 4,446	41,189	2,282	△ 641	1,640	42,829

## ① 新ブランドCMの配信を開始

当社は、2024年8月30日より、俳優・モデルとして活躍中の井桁弘恵さんを起用した、当社ブランドCMの配信を開始しました。

今回配信するブランドCMでは、当社のコーポレートカラーである赤の背景の前に、井桁弘恵さんが登場。当社の技術や歴史について説明するナレーションに、井桁さんが「ホー！」と驚きの表情で応える内容となっています。井桁さんの台詞は「ホー！」の一言

のみですが、井桁さんの顔のアップと真っ赤な背景とのコントラストで、シンプルでインパクトのあるブランドCMが完成。『ホーチキの技術に、ホー！篇』、『ホーチキの活躍に、ホー！篇』、『ホーチキの歴史に、ホー！篇』（各15秒）の3本を制作しました。

今後も当社ブランド価値向上に向けた施策に取り組んでまいります。



## 2 販売店様向け発注サイトを正式運用開始

当社は、「ホーチキECサイト」の正式運用を2024年8月より開始しました。

オンライン上から発注することができるECサイトはすでに他業界では一般的ですが、火災報知設備業界では今現在も導入事例が少ないのが現状です。本サイトでは、ECサイトの使用に慣れていない担当者様が扱いやすいように、注文ページに当社の営業日が一目で分かる月別カレンダーを表示するなど、「見やすさ、分かりやすさ、使いやすさ」にこだわった仕様となっています。

今後も円滑な営業活動を推進するための取組みを行ってまいります。

「ホーチキECサイト」トップ画面



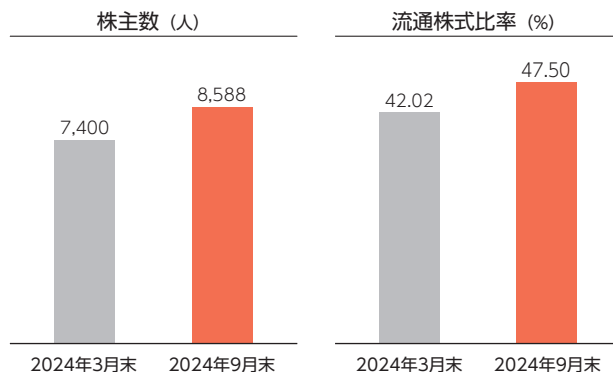
## 3 株式の売出しを実施

当社は、2024年9月に株式の売出しを実施しました。

コーポレートガバナンス・コードに対する取組みなどから、政策保有株式の見直す動きを進めることで、株主層の拡大や多様化、更なる流動性の向上を目指しており、今回の株式売出しにより、オーバーアロットメントによる売出し分を含め、計1,963,500株の売出しが完了しました。

今後も機動的な資本政策の実施により、当社の企業価値向上に努めてまいります。

株主数、流通株式比率の推移



※オーバーアロットメントによる売出しは、需要状況に応じて、主幹事証券会社が当社株主から株式を借り入れ、追加的に販売する仕組みです。

※流通株式比率は、(株)日本取引所グループが定める流通株式数の定義に基づき算出した値です。

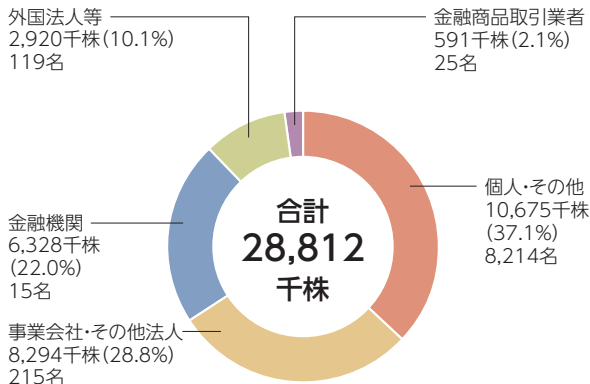
## 株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 115,000千株  
発行済株式の総数 28,812千株  
期末株主総数 8,588名 (前期末比1,188名増)  
大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
総合警備保障株式会社	4,380千株	17.5%
三和ホールディングス株式会社	2,274	9.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,169	8.7
東京海上日動火災保険株式会社	2,029	8.1
トーア再保険株式会社	850	3.4
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	840	3.4
ホーチキ従業員持株会	775	3.1
MSIP CLIENT SECURITIES	604	2.4
重田 康光	589	2.4
セコム株式会社	420	1.7

(注) 1. 当社は、自己株式を3,808,624株保有しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別分布状況



(注) 1. 記載株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 自己株式3,808,624株は、個人・その他に含めております。

## 会社の概況 (2024年9月30日現在)

設立 1918年4月2日

資本金 37億9,800万円

### 主要な事業内容

- 火災報知設備** 火災報知設備の製造、販売及び施工
- 保守** 防災設備に係る保守点検及び整備工事
- 消火設備** 消火設備の製造、販売及び施工
- 防犯設備** 防犯機器の製造、販売及び施工ならびに保守管理

連結従業員 2,394名 [256名]

従業員数は就業人員であり、顧問、嘱託、臨時従業員数は〔 〕内に当中間連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

## 事業所 (2024年9月30日現在)

**本社** 東京都品川区上大崎二丁目10番43号  
**支店** 東京（東京都品川区）、横浜、名古屋、関西（大阪府東大阪市）  
**支社** 北海道（北海道札幌市）、東北（宮城県仙台市）、新潟、上信越（群馬県高崎市）、北関東（埼玉県さいたま市）、西関東（東京都八王子市）、千葉、静岡、豊田、京都、神戸、四国（香川県高松市）、中国（広島県広島市）、九州（福岡県福岡市）

**営業所** 盛岡、福島、長野、宇都宮、丸の内（東京都千代田区）、川崎、富山、金沢、岡山、福山、松江、山口、北九州、熊本、鹿児島、宮崎、台湾

**工場** 町田（東京都町田市）、宮城（宮城県角田市）、茨城（茨城県結城郡）

**研究所** 開発研究所（町田・宮城工場に併設）

**子会社等** ホーチキ商事株式会社

ホーチキ茨城電子株式会社

関西ホーチキエンジニアリング株式会社

水戸ホーチキ株式会社

株式会社ディーディーエル

ホーチキアメリカコーポレーション（米国）

ホーチキヨーロッパ（U.K.）リミテッド（英国）

ホーチキオーストラリアPTYリミテッド（豪州）

ホーチキサービスS.de R.L.de C.V.（メキシコ）

ホーチキメキシコS.A.de C.V.（メキシコ）

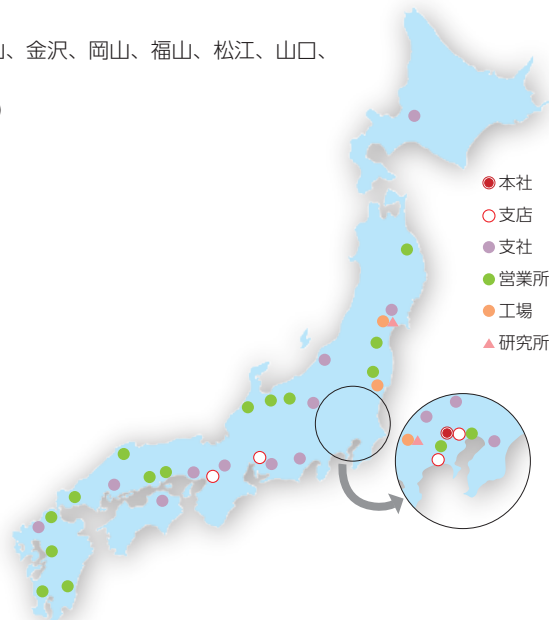
ケンテックエレクトロニクスリミテッド（英国）

ホーチキミドルイーストFZE（ドバイ酋長国）

ホーチキアジアパシフィックPTEリミテッド（シンガポール共和国）

ホーチキイタリアSRL a s.u.（伊国）

ホーチキタイランドリミテッド（タイ王国）



## 取締役、監査役及び役付執行役員 (2024年9月30日現在)

代表取締役 社長執行役員	細井 元	常務執行役員	八木 公彦	社外監査役	中村 匡秀
代表取締役 専務執行役員	小林 靖治	社外取締役	中野 秀代	監査役	安達 美奈子
取締役 常務執行役員	米澤 道裕	社外取締役	松永 祐明	社外監査役	中村 健一
取締役 常務執行役員	甲斐 正浩	社外取締役	野地 彦旬		
取締役 常務執行役員	吉本 康弘	監査役	平井 裕次		

(注) 監査役のうち、平井裕次氏及び中村匡秀氏は、常勤監査役であります。

# 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
同総会権利行使 株主確定日	3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
その他の基準日	必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告の上 設定します。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場金融商品取引所	東京証券取引所 (プライム市場)
証券コード	6745
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="https://www.hochiki.co.jp/">https://www.hochiki.co.jp/</a> (ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告を 行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載し、行い ます。)

## 【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



## ホームページのご案内



当社に関する最新動向や情報をお伝えしております。



<URL> <https://www.hochiki.co.jp/>

ホーチキ株式会社

検索

株主の皆さまの声を聞かせください

# コエキク

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 6745UVu8



スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り  
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。  
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 ☒ [koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)